

ビール・ストリートの恋人たち (2018)

IF BEALE STREET COULD TALK

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2019/02/22

公開情報 ロングライド

映倫 G

【キャッチコピー】

愛があなたをここに連れてきた

【解説】

前作「ムーンライト」がアカデミー作品賞に輝いたバリー・ジェンキンス監督が、公民権運動家としても知られたアメリカ黒人文学の巨匠ジェームズ・ボールドウィンの同名小説を映画化した純愛ストーリー。1970年代のニューヨークを舞台に、理不尽な人種差別に立ち向かい愛を貫こうとする若い恋人たちの姿と、それを支える家族や友人たちとの愛と絆の物語をエモーショナルに綴る。主演は本作が長編映画デビューの新星キキ・レイン。共演にステファン・ジェームズ、ディエゴ・ルナ、レジーナ・キング。

1970年代のニューヨーク。19歳の黒人女性ティッシュは幼なじみのファニーと恋人同士。ところがある日、白人警官の怒りを買ってしまったファニーは、強姦の罪をでっち上げられ留置所送りとなってしまう。その直後、ファニーの子をお腹に授かったことが判明したティッシュ。留置所のファニーに妊娠の事実を伝えるとともに、子どもが生まれてくるまでに自由の身にしてあげると誓う。そして母のシャロンをはじめ家族や周囲の人たちの協力を得ながら、無実の証明に奔走していくティッシュだったが…。

【クレジット】

監督	バリー・ジェンキンス	Barry Jenkins
製作	アデル・ロマンスキー	Adele Romanski
	サラ・マーフィ	Sara Murphy
	バリー・ジェンキンス	Barry Jenkins
	デデ・ガードナー	Dede Gardner
	ジェレミー・クライナー	Jeremy Kleiner
製作総指揮	ミーガン・エリソン	Megan Ellison
	ブラッド・ピット	Brad Pitt
	サラ・エスバーグ	Sarah Esberg
	チェルシー・バーナード	Chelsea Barnard
	ジリアン・ロングネッカー	Jillian Longnecker
	マーク・セリアク	Mark Ceryak
	キャロライン・ヤーツコー	Caroline Jaczko

原作	ジェイムズ・ボールドウィン		
脚本	バリー・ジェンキンス	Barry Jenkins	
撮影	ジェームズ・ラクストン	James Laxton	
プロダクションデザイン	マーク・フリードバーグ	Mark Friedberg	
衣装デザイン	キャロライン・エスリン=シェイファー	Caroline Eselin-Schaefer	
編集	ジョイ・マクミロン ナット・サンダーズ	Joi McMillon Nat Sanders	
音楽	ニコラス・ブリテル	Nicholas Britell	
音楽監修	ゲイブ・ヒルファー	Gabe Hilfer	
出演	キキ・レイン	KiKi Layne	ティッシュ・リ ヴァーズ
	ステファン・ジェームズ	Stephan James	ファニー (アロン ゾ・ハント)
	コールマン・ドミンゴ	Colman Domingo	ジョーゼフ・リ ヴァーズ
	テヨナ・パリス	Teyonah Parris	アーネスティン・ リヴァーズ
	マイケル・ビーチ	Michael Beach	フランク・ハント
	デイヴ・フランコ	Dave Franco	レヴィー
	ディエゴ・ルナ	Diego Luna	ペドロシート
	ペドロ・パスカル	Pedro Pascal	ピエトロ・アルバ レス
	エド・スクライン	Ed Skrein	ベル巡査
	ブライアン・タイリー・ヘンリー	Brian Tyree Henry	ダニエル・カーティ
	レジーナ・キング	Regina King	シャロン・リヴァー ズ